



陽光

(ひかり)

令和8年1月15日(木)
札幌市立光陽中学校
学校便り 第9号
発行者：荒木 信幸

学校教育目標 未来を築く生徒の豊かな人間性の育成をめざして

①高い知性を育てる ②豊かな心情を育てる ③健康な身体を育てる ④ねばり強い実践力を育てる

3学期を迎えて

校長 荒木 信幸

いよいよ今日から3学期です。今年の干支は午年ですが、力強く前向きに進む馬のイメージから、行動力と活発さを象徴する年とされているようです。3年生の皆さんは、卒業期を迎え、小学校から始まった義務教育9年がもうすぐ終わりを迎えます。ラストスパートを乗り越えて感動のゴールを目指しましょう。1,2年生の皆さんはもうすぐ進級です。どんな上級生を目指すのか、そのためにはどんな努力が必要か、4月から高く大きく羽ばたくための助走期間にしてほしいと思います。

さて、昨年11月の話になりますが、今年33歳になる卒業生たちが、小さなクラス会を企画してくれました。昔話が盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。特に印象的だったのが、彼らが当時私に「ほめられた話」や「叱られた話」をいくつか鮮明に覚えていて、懐かしそうに話してくれたことです。私は覚えていてくれたことに「うれしい」気持ち がわいてきたと同時に、自分が発した言葉が教え子の心に今も残り続けていることへの責任の重さも感じました。

自分が発した一言が、思いがけず人を励ますことがあります。逆に悪意のないはずの一言が思わず人を傷つけることもあります。今回の同窓会は「楽しい」ばかりではなく、気持ちを引き締めることのできた会になりました。

新年を迎えて、皆さんはどんな決意を固めているでしょうか。なかなか自分一人で努力を続けることは大変です。そんな時に、学級や部活動の仲間からの温かな声掛けが大きな力になります。お正月の箱根駅伝をテレビで見ましたか。各区間の残り3キロから、選手を奮い立たせるために各大学の監督が送る温かい励ましの言葉は、いつ聞いても本当に見事です。

今年も自分や仲間を大切にできる、居心地の良い光陽中を創り上げましょう。皆さんにとって素敵な一年になることを祈って、始業式の話が終わります。

(3学期始業式のお話より)

☆ 吹奏楽部が「第52回札幌市民吹奏楽祭」に参加します。

1月24日(土)、25日(日)に札幌市教育文化会館大ホールで行われる「第52回札幌市民吹奏楽祭」に吹奏楽部が参加します。

(本校の演奏は25日、11時22分予定) 入場料/1,000円(全席自由席、小学生未満無料)

<チケットは> ■教文プレイガイド ■ヤマハミュージック札幌店

■三響楽器 にお問い合わせください。

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり。